

特別企画 雑誌「地域人」編集長に聞く

2022

地域循環共生圏

12

地域を幸せにするローカルSDGsの具現化

参加
無料

持続可能な地域を実現するための
メディアだからできる
効果的な情報発信と役割とは？

雑誌『地域人』編集長
大正大学地域構想研究所 客員教授

渡邊 直樹氏

『環境・社会・経済・教育』
地域循環共生圏を実現するための
地域づくりとは？

岡山大学
地域総合研究センター 准教授

岩淵 泰氏



Chiiki



Junkan



Kyouseiken

プログラム

- 14:00 開会
- 14:10~14:30 講演1 渡邊直樹氏
- 14:30~14:50 講演2 岩淵 泰氏
- 14:50~15:20 講演講師 対談
- 15:20~15:30 質疑応答
- 15:30 閉会
- 終了後 名刺交換

日時：2022年12月6日(火) 14:00~16:00

会場：合人社ウエンディひと・まちプラザ ギャラリー AB

(〒730-0036 広島市中区袋町6-36 北棟 4F)

渡邊 直樹 氏 大正大学地域構想研究所が発行する雑誌「地域人」の編集長



1976年東京大学文学部宗教学科卒業後、平凡社に入社。月刊「太陽」編集部を経て嵐山光三郎氏らと青人社を創立し、月刊「DOLive（ドリブ）」3代目編集長。扶桑社に移り、週刊「SPA!」月刊「PANJA」を創刊、アスキーで週刊「アスキー」を創刊、編集長を務める。1988年、ジェイ・キャスト設立に参加。2000年、中央公論新社に移り、「婦人公論」編集長。2004年、大正大学文学部教授から新設した表現学部教授に。（～2017年）。その間も年刊「宗教と現代がわかる本」（平凡社）を責任編集、国際交流基金で「をちこち」編集長を歴任。2015年より「地域人」編集長、2017年からは大正大学地域構想研究所客員教授として現在に至る。

岩淵 泰氏 岡山大学 地域総合研究センター（AGORA） 准教授（副センター長）

熊本大学大学院社会文化科学研究科修了（博士：公共政策）。フランス・ボルドー政治学院留学。カリフォルニア大学バークレー校都市地域開発研究所客員研究員を経て現職。研究分野は、政治学。地方政治やまちづくりを参加民主主義の視点から分析。岡山市、倉敷市、真庭市、矢掛町など岡山各地の市民参画を発表。著書に「西川アーカイブス」（吉備人出版）、「岡山まちづくり探検」（吉備人出版）。



近年『SDGs』という言葉が浸透し実際に取り組む企業や団体が増える中、行き詰まり感を訴える声も多くなっています。より活発な地域の持続可能性に寄与する地域内循環を生み出すためには、今地域が抱えている課題を正確に把握し、地域内の物的・人的資源を活用した取組のノウハウ、効果的な情報の発信が「カギ」となるのではないのでしょうか。

常に時代の先端を読んで、世間の「空気」をかたちにしてきた渡邊氏と、ローカルSDGsの地域づくりを研究者の立場から実践する岩淵氏による対談から、地域循環共生圏（ローカルSDGs）の創造、具現化とはどのようなものか、促進に向けたポイントについて考えます。

会場 ※オンライン (zoom) 参加可

合人社ウェンディひと・まちプラザ

〒730-0036 広島県広島市中区袋町6-36

北棟 4F ギャラリーAB

お申し込みと
セミナーの詳細は
こちらから！
(参加無料)



FAXまたはメールにて以下項目についてお送りください。ホームページからもお申し込みいただけます。

ご所属先			
フリガナ お名前			
TEL		FAX	
E-mail	@		
<期待すること>			

※個人情報は本会開催以外の目的には使用いたしません。